

講義コード	25468002	
担当者	藤 井 英 次 教 授	
研究題目	国際金融・国際マクロ経済の分析 - 国際的視点と経済学的考察力を磨こう	
<p>1. ゼミの目的</p> <p>研究演習や卒業研究は多くの人にとって、初めて本当の意味で「自分で考える」ことに取り組む機会と言えます。自ら問題を発見・提起し、論理立ててじっくり考え、データを分析して結果を解釈し、重要な結論や示唆を正確且つ効果的に他者に伝えるという課題には、予め設定された正解などありません。これまで慣れ親しんだ「正解を導出する」という作業に比べてずっと大変ですが、遥かに面白くやりがいがあり、自分の能力を高い次元へと磨き上げる絶好の機会です。その過程で自らを律し（自律）、自らの意志と力で立つ（自立）ことを学び、卒業後実社会で求められる真の学士力を涵養することが当ゼミの目的です。</p> <p>2. 学習内容</p> <p>国際化が進む社会は様々な課題や挑戦、そして可能性に満ちています。日本は世界の中にあり、私たちの暮らしも海外の状況と無縁ではあり得ません。当ゼミでは、そのような社会の中でゼミ生一人ひとりが様々な事象を正確に観察し、論理的思考によつて的確な判断を下して果敢に行動できる人間に成長することを目標に、国際金融論や国際経済学の基礎と応用を理論・実証の両面から学びながら国際的視点と経済学的考察力を磨きます。教科書による理論学習に加え、パソコンを使ったデータ分析やプレゼンテーションも取り入れて、論理的に考察・分析・議論し、効果的に伝達する力をバランスよく育むことを目指します。また、国際公用語である英語によるコミュニケーション能力の向上にも積極的に取り組みます。</p> <p>3. 運営方針</p> <p>当ゼミが掲げる「学びの基本哲学」は”No pain, no gain.”です。何のpainもなしに容易にgainできるものが、真の達成感や充実感をもたらすことなどありません。この事を忘れずに常に主体的にゼミに参加し、積極的に貢献することが全てのゼミ生に求められます。加えて他者への配慮を含めた大人としての責任ある態度やマナーは当ゼミ参加に当たっての絶対的要件であり、授業態度や学習意欲を欠く人の参加は認めません。また、<u>相乗効果の観点から全ゼミ生に対して実証国際経済学A・Bの履修(単位取得)を義務化しています。</u>参加希望者は予めこれらの点を承知の上で申し込んでください。</p> <p>4. 受講者の選考方法・基準等</p> <p>上記のゼミの目的・内容・運営方針を十分理解したうえで、真摯に自己を磨きたいという高い志を持った意欲的な学生だけを募集します。<u>真剣に学業に取り組む覚悟のない方の申し込みは予めお断りします。</u>受講希望者は必ず説明会に参加し、そこで指示する要領に従って志望理由書を作成のうえ申し込み期限内に事務室に提出してください。説明会への出席や志望理由書の期限内提出がない場合は、選考の対象としませんので十分注意してください。面接と志望理由書によって選考を行います。</p>		
受け入れ条件	1)説明会への出席、2)指示された内容・形式の志望理由書の期限内提出、3)指定日時の面接受験、4)当ゼミに学ぶ志、5)個人的事情による特別扱い・対応等を要しないこと、以上の全てを <u>必要条件</u> とします。	
担当者のプロフィール	専攻	国際金融論、国際経済学、応用計量経済学
	現在の研究テーマ	実質為替レートのダイナミックス、財・資本市場の国際統合など
	所属学会	American Economic Association, Hong Kong Economic Association, International Economics and Finance Society, Royal Economic Society, 日本経済学会

